

平成30年度学校評価に係わるアンケート結果の実施報告について

本校では、学校運営や教育活動における充実と改善を図ることを目的で、保護者や生徒から学校評価アンケートを実施しております。また、昨年度末には学校関係者による評価会議も実施いたしました。その結果、たくさんの貴重な御意見等をいただくことができましたので、アンケート集計結果とあわせて報告いたします。

なお、新しくPTA会員になられました皆様におかれましては、本校の現状と課題を御理解いただき、これからの本校の教育活動に御支援と御協力を願い申し上げます。

1 生徒による「学校評価」に関するアンケート

評価の観点		H30 平均	H29 平均	H28 平均
1	本校での生活は楽しく充実しており、入学してよかったと思う。	4.3	4.2	4.4
2	私は積極的に清掃活動を行っている。	4.4	4.4	4.5
3	私は積極的に環境美化（トイレの使用の仕方、ゴミを拾う、土足をしなないなど）に努めている。	4.2	4.2	4.4
4	本校の施設・設備は充実し、有効に活用されている。	4.5	4.5	4.6
5	空き缶、ペットボトルの処理がきちんと行われている。	4.4	4.3	4.4
6	先生方は教え方に工夫を凝らして、分かりやすい授業を展開している。	4.1	4.1	4.2
7	全校一斉漢字テストの実施は、学力向上に役立っている。	4.1	4.1	4.2
8	本校では積極的に資格取得を奨励している。	4.6	4.6	4.7
9	生徒が資格取得に挑戦するとき、先生たちは熱心に講習を行ってくれる。	4.5	4.4	4.5
10	先生方は生徒の進路の悩みや対人関係などの悩みに対して、親身になって相談ののってくれる。	4.3	4.3	4.4
11	先生方は出校時間や提出物の期限など、規律ある生活ができるように指導している。	4.6	4.6	4.7
12	本校の服装頭髪指導は厳しく行われている。	4.8	4.8	4.8
13	挨拶がきちんと行われている。	4.4	4.5	4.5
14	生徒の適性や希望に応じた進路指導が行われている。	4.4	4.5	4.6
15	本校では、「進路説明会」「進路講話」等で進路情報が適切に提供されている。	4.6	4.6	4.7
16	「自分が在籍している学科」の学習は「将来の志望進路」に役立つと思う。	4.5	4.5	4.6
17	ホームルーム活動の雰囲気が良く、安心して学校生活が送れる。	4.4	4.5	4.5
18	学校行事の企画・運営は生徒の手で行われ、楽しめるものになっている。	4.5	4.5	4.4
19	本校の部活動は活発に行われている。	4.6	4.6	4.7
20	ホームルーム活動や学校行事、部活動等を通じて、いじめ等がなく良好な関係ができています。	4.4	—	—
生徒全体平均		4.4	4.4	4.5

2 保護者による「学校評価」に関するアンケート

評価の観点		H30 平均	H29 平均	H28 平均
1	本校の教育目標は、学校の実態を踏まえた内容になっている。	4.5	4.5	4.5
2	学校の伝統・校風を活かして、特色ある学校づくりがなされている。	4.6	4.6	4.6
3	本校に入学させて良かったと思う。	4.7	4.7	4.7
4	本校では個人情報の保護・管理がきちんと行われている。	4.6	4.6	4.5
5	生徒は授業内容を理解し課題に取り組んでいる。	4.2	4.1	4.1
6	学校は資格を取得させるために、組織的な指導をしている。	4.5	4.5	4.5
7	学校は規律を守り、健康・安全について適切に指導している。	4.5	4.6	4.6
8	部活動など特別活動への積極的参加を奨励し、心身共に健全でたくましい人間の育成に努めている。	4.4	4.5	4.5
9	地域に根ざした活動を通して、公共心や公德心の育成に努めている。	4.3	4.4	4.4
10	生徒個々の希望に即した親身な指導が行われている。	4.2	4.2	4.3
11	学校は清掃活動、環境美化に取り組んでいる。	4.4	4.5	4.4
12	緊急時の対応策が生徒・保護者に伝わっている。	4.3	4.1	4.2
13	本校の施設・設備は充実し、有効に活用されている。	4.6	4.6	4.6
14	生徒のことに学校に相談しやすい雰囲気である。	4.1	4.1	4.0
15	本校生徒は挨拶・礼儀などのマナーが身につけている。	4.4	4.4	4.4
16	校内外での服装はきちんとしている。	4.5	4.5	4.5
17	生徒は目標を持って学校生活を送っている。	4.2	4.3	4.2
18	生徒同士にいじめ等がなく良好な関係ができています。	4.2	—	—
保護者全体平均		4.4	4.4	4.4
本評価項目の平均は、「そう思う」「どちらかというと思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の評価を点数に換算して平均を求めたものである。平均点は3.0である。				

3 保護者からの主な意見や要望に対する回答

(1) 頭髪服装指導について

「服装頭髪指導が厳しすぎる」、「部活があるので髪を切りに行く時間があまりない」、「社会に出てからで、と言う方がおりますが、私はそれでは遅いと感じます。青森工業高校の指導は素晴らしいと感じております。」などの御意見をいただきました。本校3年生の約7割は就職します。そして、これまで高い就職内定率を維持してきております。その要因のひとつとして、学校を休まない習慣（欠席・遅刻・早退）、挨拶の徹底、服装・頭髪等が挙げられます。毎年のように採用内定をいただいている企業が少なくはありません。就職後、多くの生徒が好みのヘアスタイルにしているようにも感じます。在学中は進路達成を最終到達点と考え、家庭と学校が生徒たちのために連携していきたいと考えております。

(2) 資格取得について

「いつ頃どんな資格試験があるのかを知りたい」、「学科の枠に関係なく受験案内をして欲しい」、「部活動も大事だがしっかりと資格取得」などの御意見がありました。担任を通じて口頭や掲示物での受験案内はしておりますが、ホームページや配布物等の活用も進め、というっかりのないような対策を取ります。

(3) 緊急時対応について

冬期間、生徒の約8割（夏期は6割弱）は鉄道を利用して登校しています。電車運行状況の情報手段としてはテレビ速報、インターネット、問合せ等が挙げられます。電車が運行していない時は自宅待機、情報収集を基本に対応をお願いいたします。その後、電車などの交通手段が復旧し、かつ、移動手段が確保できるのならば、登校させていただきますようお願いいたします。

(3) その他

・学食があれば助かります、 ・女子が魅力を感じる部活動が欲しい、 ・担任との面談機会が多く欲しい、 ・工業科目の補習をお願いしたい、 ・他校にも子どもはいますが工業の環境がとて素晴らしい、このような御意見もありました。改善できる部分は早急に対応いたしますので、今後も教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

4 学校関係者評価会議(平成31年2月13日開催)からの意見、要望、評価

- (1) 保護者と教員の連携が大切だが、学校に出たがらない保護者も多い。話しやすい雰囲気づくりをお願いしたい。
- (2) インターンシップを全学年で実施し、地元企業や町工場を見てもらいたい。
- (3) 企業内定後、仕事に特化した資格取得をお願いしたい。
- (4) 学校発行の広報は近隣住民に役立っており、学校や生徒に注目している。

5 平成31年度 学校教育指導の方針と重点(青森県教育委員会から引用)

1 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、想像力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2 授業の充実

一人一人の生徒が、各教科及び総合的な学習の時間等において、主体的・対話的で深い学びを通して確かな学力を身につけることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

- ア 主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画等の整備
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得に向けた教材の工夫と教材研究の深化
- ウ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫
- エ 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫
- オ 学校図書館やICTなどを活用した子どもの学びを支援する学習環境の充実

3 生徒指導の充実

一人一人の生徒が、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行なうとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 生徒理解に基づいた教育相談の充実
- エ いじめの積極的な認知と組織的な対応の徹底

4 キャリア教育の充実

一人一人の生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業感の育成

5 特別活動・部活動の充実(本校独自の企画)

- (1) 青森ねぶた祭(8月2日～3日)への参加を継続する。
- (2) ものづくりコンテストなどの各種大会に参加する生徒に対して積極的に支援する。
- (3) 各部活動の成績だけにとらわれず、努力している部活動の大会を学校全体で応援する。
- (4) 生徒指導部通信「SEIKO TIMES」を発行して保護者との情報共有を図る。